

2025

## 第 22 期通常総会議案書

日 時:2025(令和 7)年 6 月 28 日(土) 13:30~15:00

会 場:オンライン開催(Microsoft Teams)

会議参加アドレス:<https://x.gd/bjYEO>

### 議 題

第一号議案 2024 年度の活動報告並びに活動計算書承認の件

第二号議案 2025 年度事業計画及び活動予算案承認の件

第三号議案 短期借入金最高限度額承認の件

第四号議案 定款変更の件

第五号議案 その他

### 添付資料

資料 1 活動日誌

資料 2 暖談の会開催レポート

資料 3 2025 年度薪チラシ・薪だより

資料 4 シンポジウム・視察研修ツアー報告書、チラシ等

資料 5 新聞記事(2024 年度掲載分)

資料 6 変更後の定款案

特定非営利活動法人 九州バイオマスフォーラム

# 第一号議案 2024 年度の活動報告並びに活動計算書承認の件

## 1. 事業概況報告

### <全体方針>

NPO 法人九州バイオマスフォーラムが設立してから 21 周年を記念して、シンポジウムと視察研修ツアーを企画しました。一方で、前年度が大幅な赤字と債務超過になったため、コンサルティング事業に重点を置くことで、収支の改善を図りました。

#### (1) 2024 年度の総括

- 薪販売事業については、過去最高の売上を達成し、収支の改善を図ることができました。
- 農水省の「ペレット堆肥の広域流通促進モデル実証」の中で、牛糞や豚糞のペレット堆肥化の実証事業に取り組みました。その中で、過去に開発した薪の乾燥システムの技術を応用することができました。
- シンポジウム・視察研修ツアーの開催  
「九州のバイオマス利用の課題と展望」をテーマとした普及啓発を目的としたシンポジウムを 9 月 30 日にくまもと森都心プラザ プラザホールで実施。10 月 1 日に視察研修ツアー、2 日にはオプショナルツアーを実施しました。

#### (2) 事務局概況報告

2024 年度は、理事長・事務局長の役員とパート・アルバイトを含め 9 名体制となっています。内訳としては、上記役員 2 名以外に、薪生産・機器組立等の男性職員が 2 人、薪生産販売にパートの女性スタッフが 1 名、経理・事務の 3 名(パート含む)となっています。コンサルティングや実証試験などは、理事長・事務局長が担当しています。

(3) 2024 年度の事業概要

① 特定非営利活動に係る事業(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
広報・啓発事業	(1)インターネットを活用した情報提供・相談窓口の開設	隨時	全国	2	不特定多数	-
	(2)シンポジウム・セミナー・イベント・展示会の企画・開催・運営	1回	熊本	4	不特定多数	-
	(3)パンフレットや会報・各種資料の作成・配布	通年	阿蘇市	2	不特定多数	-
	(4)見学会・研修会・ツアーの企画・運営	隨時	九州内	4	35人	
	(5)他の団体・企業・行政が主催するバイオマス関連事業のサポート	1回	福岡県	1	20人	5
バイオマス利用地域モデル推進事業	(1)脱炭素化支援事業・コンサルティング事業	通年	九州内	2	不特定多数	7,079
	(2)九州薪・木質ペレット活用協議会	通年	九州内	2	不特定多数	5,858
	(3)野草資源小委員会事務局運営	年2回	阿蘇市	1	17	-
	(4)ペレット堆肥・技術開発実証	通年	九州	8	不特定多数	41,798
	(5)草原再生オペレーター組合の事務委託	通年	阿蘇市	2	100	1,956
バイオマス関連製品普及・販売事業	①バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフトウェア・データ等の販売	-	-	-	-	0
	②ペレットストーブやバイオマスプラスチック製品などのバイオマス関連製品の販売		-	-	-	0
	③薪・ペレット・草などのバイオマスの生産・販売・流通事業	隨時	九州内	3	500	18,128
	④バイオマス活用設備・機器の販売	随时	全国	2	不特定多数	468
	① その他の上記の事業に付随する事業	-	-	-	-	-
環境教育	(1)バイオマスをテーマにした出前講座・環境教育の実施	通年	阿蘇郡	2	35人	25
専門家派遣事業	(1)各種イベント・セミナー等への講師の派遣・コーディネート	通年	九州内	1	不特定多数	48

② その他の事業(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
その他の事業	①農産物、畜産物、水産物、酒類、飲食物の販売	-	阿蘇市	-	-	0
	③飲食店、小売店の経営	-	阿蘇市	-	-	0
	③会議室、オフィススペースのレンタル、事務代行サービス	-	阿蘇市	-	-	0
	④ その他の上記の事業に付随する事業	-	九州内	1	不特定多数	0

#### (4) 事業報告

##### ① 活動日誌

資料1をご覧ください。

##### ② 広報啓発事業

###### (ア) 会報・インターネットによる情報発信

ニュースレターに関しては、KBF の薪づくりだよりと暖談の会の活動レポートを発行しました(資料 3)。また、フェイスブックやホームページ等で暖談の会のイベント告知などの情報発信を行いました。

###### (イ) 観察・見学・研修生の受け入れ

薪生産の現場や乾燥システムについて、2 件の観察受入がありました。

###### (ウ) セミナー・展示会・観察ツアーの開催

➤ 2024 年 10 月 1 日、2 日に熊本・福岡のバイオマス関連施設を巡る、観察研修ツアー実施しました。詳細は(資料 4)シンポジウム・観察研修ツアー報告書をご覧ください。

###### (エ) 新聞記事・メディア掲載実績(資料 5)

➤ 2024 年 9 月 16 日の熊本日日新聞にシンポジウムの告知記事が掲載されました。  
➤ 2025 年 1 月 13 日の循環経済新聞に、9 月 30 日に行われたシンポジウムの取材記事が掲載されました。

#### ③ バイオマス利用地域モデル推進事業

##### (ア) 脱炭素化支援業務・コンサルティング業務

###### ① 株式会社西原商店

2022 年 10 月より熊本県庁と空港周辺の RE100 構想について、提案・協議を行ってきました。2022 年 12 月から 2023 年 3 月まで、熊本県エネルギー政策課主催の「熊本空港周辺地域における「RE100 産業・業務・交通・教育エリア」創造に係る検討委員会」が 3 回開催され、西原商店の随行者として会議に帯同しました。2023 年 4 月から 8 月にかけて、西原商店のサポートとして、熊本県の脱炭素先行地域の提案書(バイオガス事業・重点課題該当箇所のみ)を作成し、2023 年 11 月に熊本県の提案が環境省に採択され、熊本空港周辺エリアが脱炭素先行地域として選定されました。2024 年度は農水省の補助事業である「バイオ液肥の利用促進」に採択され、KBF として約 546 万円(税込)の委託を受けました。

###### ② 木質チップ工場の補助金申請支援業務

福岡県内の木質チップ事業者の補助金申請支援を行いました。残念ながら不採択でしたが、2024 年度は提案書作成支援の委託費を受けております。2025 年度も採択に向けて引き続き支援を行う予定です。

###### ③ 自治体案件

阿蘇市役所・熊本県環境立県推進課と草原の炭素吸収や水源涵養のクレジット化(ボランタリークレジット)の検討業務について提案してきましたが、具体化には至っておりません。草原保全の環境価値を収益化する仕組みづくりについては、継続的に取り組んでいきたいと思います。

###### ④ 下水処理施設管理会社

下水汚泥のメタン発酵による減容化とエネルギー自給率の向上について、2023 年度より検討

を行っています。事業性評価の最終報告は2025年度に完了する予定です。

⑤ バイオガスプラントからの相談案件

福岡県内のバイオガスプラントから、バイオ液肥の普及について相談を受けています。今年度は自治体の補助金申請を支援し、採択された場合はバイオ液肥の普及協議会設立・運営を支援する予定です。

⑥ ベトナムボイラー会社からの相談案件

ベトナムのボイラー会社「Martech」の担当者と、日本国内への事業展開について相談を受けています。2024年1月にはベトナムの現地工場やボイラー導入施設を中坊事務局長が訪問しています。今後の業務提携については、まだ具体的にはすすんでおりませんが、引き続き情報交換を継続しています。

(イ) ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証(牛糞・豚糞)

2022年度からの3年間の継続事業として牛糞ペレット堆肥の乾燥システムの開発を進めました。RPFボイラーを使った温風乾燥システムの開発を担当し、2025年3月末に事業を完了しました。

2023年度からは豚糞ペレット広域流通事業についても代表者として採択を受けております。こちらもペレット堆肥の乾燥を担当しており、長崎県の大西海ファームに設置した薪ボイラーは順調に稼働しています。農水省の事業を3年間継続したこと、事務作業も慣れてきていますが、中間検査などでも修正の指摘を受けており、2025年度に約30万円の返還金が発生しています。

(ウ) 九州薪・木質ペレット活用協議会(KFWA)

KFWAでは、例年実施している森づくり活動「暖談の会」を実施しました(表1)。具体的な活動としては、伐倒実演、安全講習、チェーンソー体験・薪割り体験を行いました(資料2)。2024年度は、熊本県県民の未来につなぐ森づくり事業・国土緑化推進機構(緑の募金事業)・イオン環境活動助成の助成を受けることができました。

イベントは昨年同様に4回開催しましたが、そのうち2回は小雨が時折降る中実施。天候があまり恵まれなかったにもかかわらず、参加者数は延べ84名となりました。その参加者の中に、過去のイベント参加をきっかけに、植林などの林業に従事する方がおり、このイベントが、林業に関心を持つきっかけづくりに役立っていることがわかりました。

一方で、10月19日に開催した暖談の会にて、薪割機に指を挟む事故が発生しました。その原因や課題について、以下のように整理しました。

- 原因は、薪割機に玉切材を乗せる人が手を放す前に、別の人気が薪割機のレバー操作をしたこと。事前に指を挟まないように安全確認や声掛けをするような注意喚起が必要であった。
- 当日は、断続的に雨が降ったりやんだりで、通常のイベントの流れではなく、雨が止んだら作業を再開するような流れであった。そのため、最初にイベントの大まかな流れの説明はあったが、個々の作業についての説明・注意などが十分ではなかった。
- ケガをされた参加者の方は、最終的に自宅近くの福岡市内の病院で治療され、イベント保険で治療費を全額負担した。アフターフォローを含め、しっかりと対応した。

上記のことを踏まえて、KBFの理事会でも以下の対応が必要という議論になっています。

- 薪割体験については、やり方を含めて安全対策を再検討する。具体的には、原則一人の作業とする(二人でやらない)、担当スタッフをかならず一人つける、など。
- 参加者には、イベント保険対象外の責任は負えないことを申込時に確認していただき、自己責任であるこの承諾書を書いていただく。
- イベント保険の補償内容の再確認、緊急連絡先などのリストの準備、土日祝日対応の医療機関の確認など、事前準備をしっかりとしておく。

- イベントの趣旨・目的が、林業体験であり、薪を持ち帰ることが主眼ではないことを再確認していただぐ。
- 事務局としては、参加者も多い人気のイベントなどで続けたい思いがありますが、リスクも大きいことから、できるだけリスクを低減化していくやり方を模索していきたいと考えています。

表1 暖談の会開催概要

日程	参加者数	会場	内容
10月12日	23名	阿蘇市永草	1. 森林・林業についての講話 2. 伐倒実演 3. 機材の使い方・安全講習 4. 自然と人間の共生や災害に強い森づくり、森林保全についての講話 5. チェーンソー体験 6. 薪割り体験
10月19日	21名		
10月26日	20名		
11月3日	20名		
			
森林・林業についての講話		伐倒実演	
			
機材の使い方・安全講習		森林保全についての講話	
			
薪割り体験①		薪割り体験②	

## (エ) 草本系バイオマスの活用(草原再生オペレーター組合事務局業務)

KBF が設立当初から取り組んできた阿蘇地域の草本系バイオマスの活用については、2005～2009 年度に NEDO のエネルギー化実験事業を実施して以降は、堆肥・飼料用などのマテリアル利用を中心に進めています。

図1の野草売上の推移では、2021 年度から売上は横ばい傾向でしたが、2024 年度は大幅な売上増となりました。2020 年度は、前年の売上を繰り越した事情がありましたので、実質的に過去最高の売上となりました。

図 2 は採草面積の推移です。2024 年度より新たな牧野を採草することができました。また、2023 年度は降雨が多く、十分な採草作業ができなかったですが、天候にも恵まれ、新たな牧野が採草できたことで、2024 年度の採草面積は過去最高の採草面積となりました。

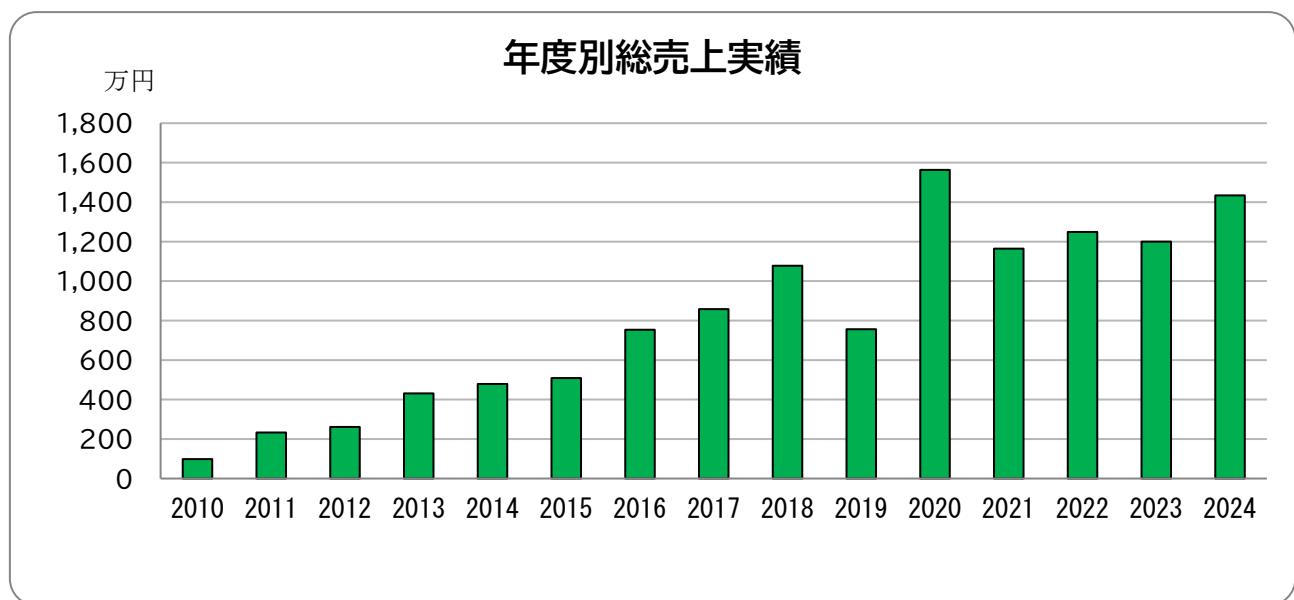


図 1 草原再生 OP 組合(2022 年度に法人化)の野草の年度別売上の推移

※KBF の収入ではありません

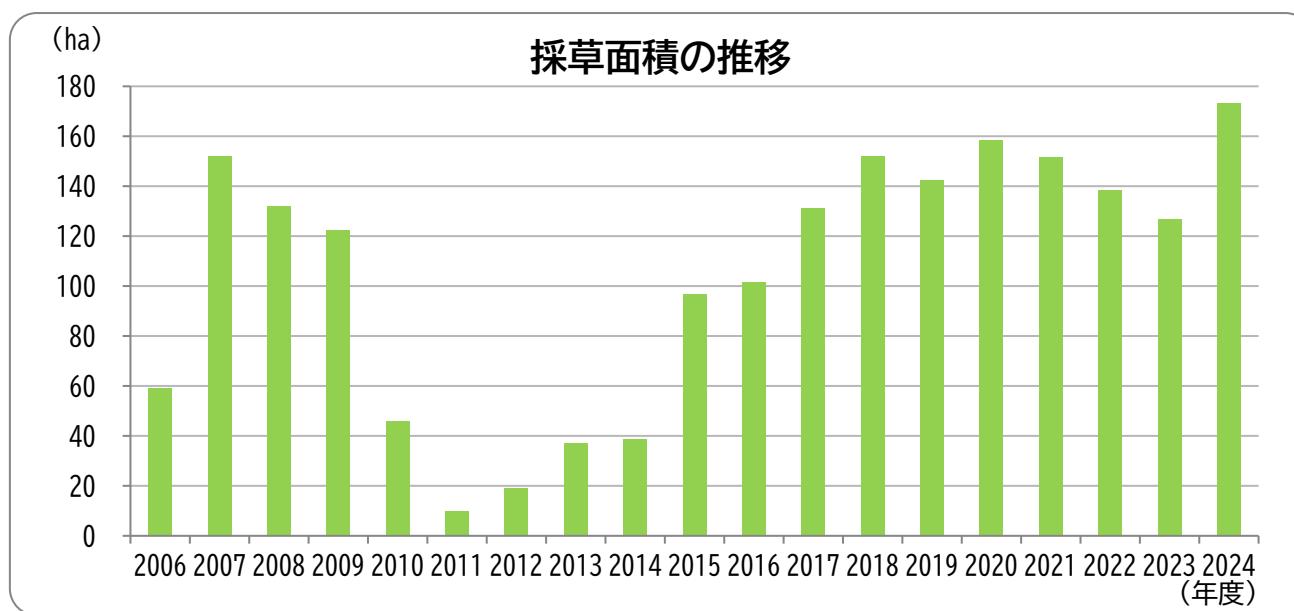


図 2 阿蘇の草原の採草面積の推移(ha)

④ 出前講座および専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣事業

北九州市立大学、国立阿蘇青少年交流の家に講師・専門家として派遣しました。

(イ) 出前講座(環境教育)

2024 年度は、人員体制の不足により、環境省・草原学習館の主導のもとに機材の貸し出しと  
いう形で、体験型草原環境学習事業に協力いたしました。

草原のススキが入った和紙づくり

	実施月	対象	人数
1	12月18日	阿蘇小学校 6年生(卒業証書)	35

⑤ その他の事業(収益事業)

(ア) バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフトウェア・データ等の販売。

9月末に開催したシンポジウム冊子について、約 8 万円の売上がありました。シンポジウムの  
収入として計上しております。

(イ) ペレットストーブやバイオマスプラスチック製品などのバイオマス関連製品の販売。

A) トイレットペーパーの販売

阿蘇市内の観光施設を中心に、トイレットペーパーを販売しました。売上は約 9 万円でした。

B) 野草紙製品の販売

環境教育を支援する物品販売事業として位置づけ、名刺・ハガキ・賞状などの野草紙製品の製  
造販売を行いました。2024 年度より未加工の野草紙販売が増え、売上は約 26 万円でした。

(ウ) 薪・チップ・ペレット・草などのバイオマス関連製品の生産・販売・流通事業。

A) 灰の販売

木灰を特殊肥料として販売を行っており、2024 年度の売上は約 2.3 万円でした。

B) 木質ペレットの販売

2021 年度から 2023 年度まで減少傾向にありましたが、2024 年度の売上は約 170 万円と  
なり、回復傾向にあります。図 3 をご覧ください。

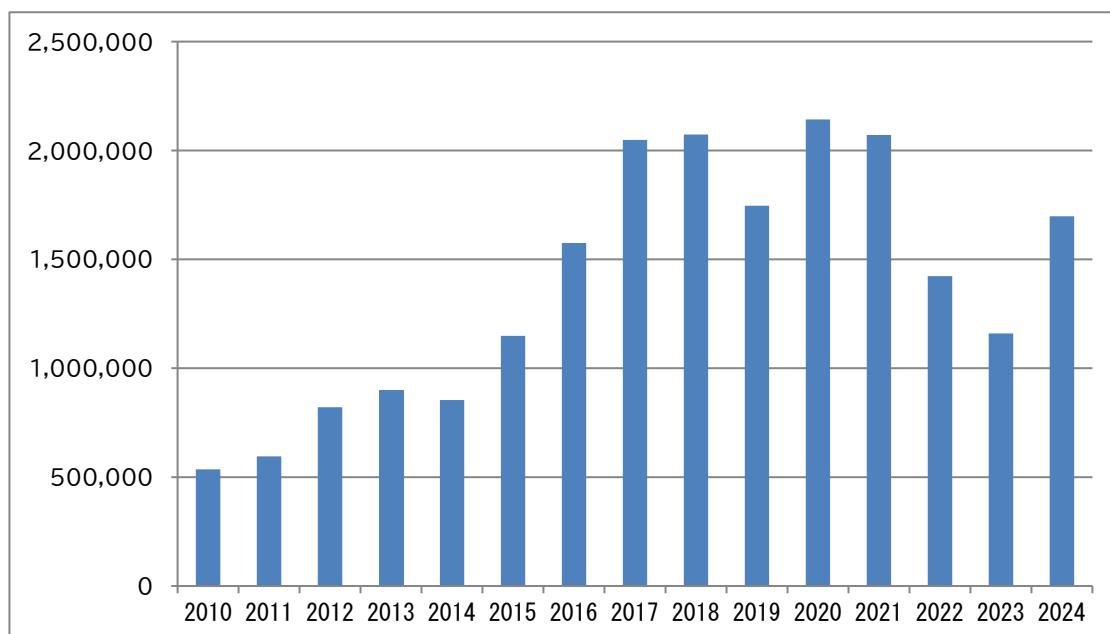


図 3 木質ペレットの売上の推移

### C) 薪の生産・販売

2024 年度前半は薪製造に遅れが出たため、注文に対して供給や配達が追い付かない状況となっておりましたが、12 月から外部の薪生産事業者からの卸供給受け、なんとか供給を続けることができました。結果的には、過去最高の売上(約 1580 万円、図 4 参照)を記録しました。

原木は順調に調達できており、原木置き場に置ききれないほど原木が集まっています。すでに昨年販売量の 8 割程度の原木が調達できています。

薪の需要については、阿蘇近辺や佐賀方面など、サウナやピザ窯などの薪需要の増加により今後の売上増加が見込まれています。

薪事業の収益改善のため、毎年継続的に薪の販売価格の値上げを行っています。2025 年度 4 月の薪販売価格は、約 5~9% の値上げを実施しました。

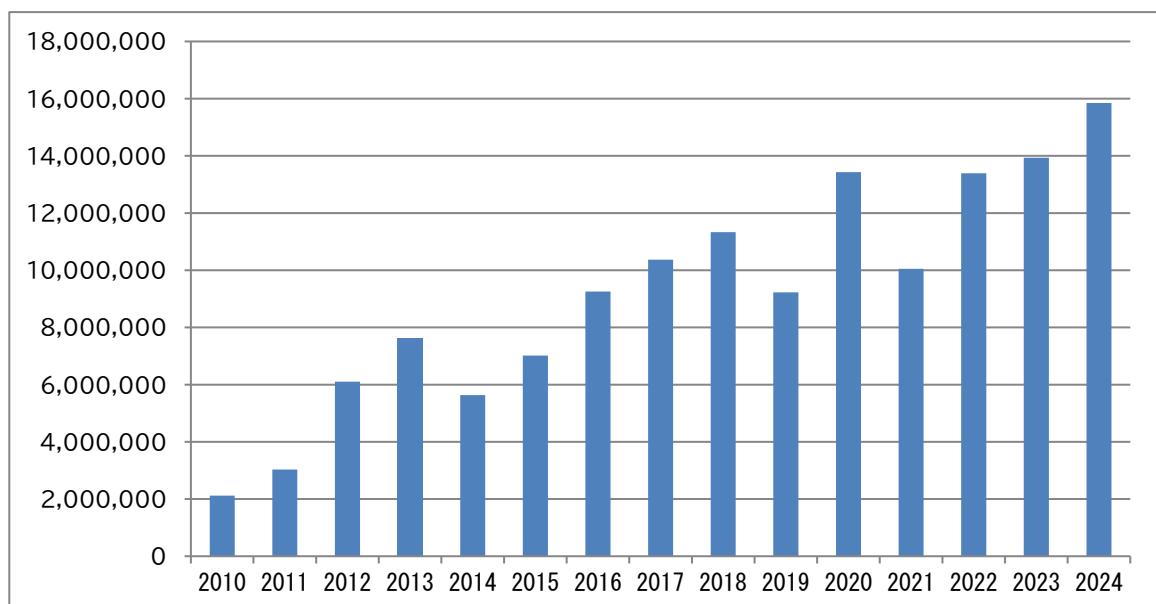


図 4 薪の販売売上の推移

#### (エ) バイオマス活用設備・機器の販売。

2024 年度は、乾燥システムについて引き合いがあり、打ち合わせや準備等を実施しましたが、発注には至りませんでした。

#### (オ) 農産物、畜産物、水産物、酒類、飲食物の販売。

2024 年度は、事業を実施しませんでした。

#### (カ) 飲食店、小売店の経営。

2024 年度は、事業を実施しませんでした。

#### (キ) 貸会議室、オフィススペースのレンタル、事務代行サービス。

2024 年度は、事業を実施しませんでした。

#### (ク) その他上記の事業に付随する事業。

2024 年度は、事業を実施しませんでした。

## 2024度決算報告

## (ア)活動計算書

薪販売売上や委託事業収入は増加しましたが、人件費や事業に伴う支出も増加したため、最終的には-90万円の赤字となりました。債務超過の状態が続いている状況となっています。

## 特定非営利活動およびその他の事業

2024年4月1日から2025年3月31日まで

科目	金額(単位:円)		
	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
KBF会費収入	553,000		553,000
KFWA会費収入	410,000		410,000
2 受取寄附金	64,209		64,209
3 受取助成金等			
補助金収入	3,918,210		3,918,210
4 事業収益			
本部	71,171		71,171
①広報啓発事業収益	0		0
②バイオマス利用地域モデル推進事業収益	51,817,573		51,817,573
③野草紙販売	222,305		222,305
④灰販売	23,200		23,200
⑤薪販売	15,847,152		15,847,152
⑥木質ペレット販売	1,697,971		1,697,971
⑦機器販売	0		0
⑧トイレットペーパー販売	99,000		99,000
⑨環境教育	67,045		67,045
⑩専門家派遣	74,200		74,200
その他の収益事業		0	
5 その他収益			
受取利息	4,289		4,289
雑収入	63,711		63,711
経常収益計	74,933,036	0	74,933,036
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	18,637,271		18,637,271
役員報酬	2,784,000		2,784,000
法定福利費	2,924,095		2,924,095
人件費計	24,345,366	0	24,345,366
(2) その他経費			
売上原価	37,532,563		37,532,563
謝金	597,952		597,952
福利厚生費	229,004		229,004
通信運搬費	705,688		705,688
光熱水費	247,642		247,642
旅費交通費	1,950,304		1,950,304
涉外費	112,297		112,297
会議費	25,632		25,632
消耗品費	415,734		415,734
図書資料費	120,336		120,336
印刷製本費	472,417		472,417
修繕費	0		0
賃借料	1,216,459		1,216,459
業務委託費	1,654,096		1,654,096
車両費	438,342		438,342
車両燃料費	10 968,275		968,275

保険料	359,809		359,809
租税公課	2,019,644		2,019,644
諸会費	359,999		359,999
慶弔費	4,836		4,836
支払手数料	317,325		317,325
減価償却費	667,046		667,046
雑費	480		480
支払利息	477,811		477,811
法人税等	68,665		68,665
その他経費計	50,962,356	0	50,962,356
事業費計	75,307,722	0	75,307,722
<b>2 管理費</b>			
(1) 人件費			
給料手当	195,905		195,905
役員報酬	0		
法定福利費	70,095		70,095
人件費計	266,000	0	266,000
(2) その他経費			
売上原価	1,954		1,954
福利厚生費	6,264		6,264
通信運搬費	14,452		14,452
光熱水費	5,944		5,944
旅費交通費	2,024		2,024
涉外費	2,015		2,015
会議費	343		343
消耗品費	13,504		13,504
図書資料費	3,564		3,564
印刷製本費	24		24
修繕費	0		0
賃借料	7,503		7,503
業務委託費	14,871		14,871
車両費	14,245		14,245
車両燃料費	4,773		4,773
保険料	10,577		10,577
租税公課	68,706		68,706
諸会費	12,076		12,076
慶弔費	164		164
支払手数料	5,924		5,924
減価償却費	22,692		22,692
雑費	0		0
支払利息	16,254		16,254
法人税等	2,335		2,335
その他経費計	230,208	0	230,208
管理費計	496,208	0	496,208
経常費用計	75,803,930	0	75,803,930
当期経常増減額	<b>-870,894</b>	0	<b>-870,894</b>
<b>III 経常外収益</b>			
1 過年度損益修正益			
経常外収益計	0	0	0
<b>IV 経常外費用</b>			
1 過年度損益修正損	61,206		61,206
経常外費用計	61,206	0	61,206
当期正味財産増減額	<b>-932,100</b>		<b>-932,100</b>
前期繰越正味財産額	<b>-12,745,189</b>		<b>-12,745,189</b>
次期繰越正味財産額	<b>-13,677,289</b>	0	<b>-13,677,289</b>

## 活動計算書の注記

### 1) 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

#### ① 収益及び費用の計上基準

収益…実現主義

費用…発生主義

#### ② 固定資産の減価償却の方法

建物の減価償却は定額法、車両運搬具、機械装置、器具備品は定率法によっています。

#### ③ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

#### ④ 借入金の増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
疑似私募債	10,400,000	9,900,000	0	20,300,000

※2024年度に990万円の疑似私募債を発行しています。

### 2) 固定資産の増減内訳

科目	期首取得額	取得	減少	期末取得額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	0			0	0	0
機械装置	4,378,630			4,378,630	1,123,244	3,255,386
車両運搬具	5,022,700			5,022,700	1,277,238	3,745,462
器具及び備品	15,458,405			15,458,405	5,142,372	10,316,033
合計	24,859,735	0	0	24,859,735	7,542,854	17,316,881

3) 事業費の内訳

科目	特定非営利活動に係る事業					その他の事業	合 計
	広報啓発事業	バイオマス利用地域モデル推進事業	バイオマス関連製品普及・販売事業	環境教育	専門家派遣		
(1) 人件費							
給料手当	0	12,257,079	6,358,757	10,122	11,313	0	18,637,271
役員報酬	0	2,784,000	0	0	0	0	2,784,000
法定福利費	0	1,933,484	982,942	3,621	4,048	0	2,924,095
人件費計	0	16,974,563	7,341,699	13,743	15,361	0	24,345,366
(2) その他経費							
売上原価	0	29,371,433	8,160,907	106	117	0	37,532,563
謝金	0	597,952	0	0	0	0	597,952
福利厚生費	0	217,650	10,670	323	361	0	229,004
通信運搬費	0	380,264	323,844	746	834	0	705,688
光熱水費	0	163,969	83,023	307	343	0	247,642
旅費交通費	0	1,668,583	263,241	104	18,376	0	1,950,304
涉外費	0	90,790	19,343	104	2,060	0	112,297
会議費	0	25,632	0	0	0	0	25,632
消耗品費	0	389,805	24,453	697	779	0	415,734
図書資料費	0	113,877	6,070	184	205	0	120,336
印刷製本費	0	455,388	17,027	1	1	0	472,417
修繕費	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	323,263	892,376	387	433	0	1,216,459
業務委託費	0	1,572,903	79,567	768	858	0	1,654,096
車両費	0	392,951	43,833	736	822	0	438,342
車両燃料費	0	131,682	836,072	246	275	0	968,275
保険料	0	340,646	18,007	546	610	0	359,809
租税公課	0	1,895,175	116,952	3,550	3,967	0	2,019,644
諸会費	0	338,117	20,561	624	697	0	359,999
慶弔費	0	4,536	283	8	9	0	4,836
支払手数料	0	110,209	206,758	169	189	0	317,325
減価償却費	0	625,934	38,630	1,172	1,310	0	667,046
雑費	0	0	480	0	0	0	480
支払利息	0	448,362	27,672	839	938	0	477,811
前期損益修正損	0	0	61,206	0	0	0	61,206
法人税等	0	64,430	3,981	120	134	0	68,665
その他経費計	0	39,723,551	11,254,956	11,737	33,318	0	51,023,562
合 計	0	56,698,114	18,596,655	25,480	48,679	0	75,368,928

## (イ) 貸借対照表(法人全体:特定非営利活動およびその他の事業)

2025年3月31日 現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未 払 金	4,377,275
現 金	148,876	前 受 金	3,058,655
小口 現金	10,716	短期借入金	4,000,000
普通 預金	4,352,204	預 り 金	428,373
現金・預金 計	4,511,796	未払法人税等	71,000
(売上債権)		流動負債 計	11,935,303
売 掛 金	604,680	<b>【固定負債】</b>	
未 収 金	5,081,376	擬似私募債	20,300,000
売上債権 計	5,686,056	長期借入金	13,465,000
(棚卸資産)		固定負債 計	33,765,000
棚卸 資産	2,979,174	<b>負債の部合計</b>	<b>45,700,303</b>
棚卸資産 計	2,979,174	<b>正味財産の部</b>	
(その他流動資産)		<b>【正味財産】</b>	
立 替 金	797,918	正味 財産	△ 4,443,004
前払 費用	88,505	当期正味財産増減額	△ 9,234,285
仮 払 金	318,754	正味財産 計	△ 13,677,289
(その他流動資産) 合計	1,205,177	<b>正味財産の部合計</b>	<b>△ 13,677,289</b>
流動資産合計	14,382,203		
<b>【固定資産】</b>			
(有形固定資産)			
車両運搬具	3,745,462		
機械及び装置	3,255,386		
什器 備品	10,316,033		
有形固定資産 計	17,316,881		
(投資その他の資産)			
敷 金	316,000		
リサイクル預託金	7,930		
投資その他の資産 計	323,930		
固定資産合計	17,640,811		
<b>資産の部合計</b>	<b>32,023,014</b>	<b>負債・正味財産の部合計</b>	<b>32,023,014</b>

## (ウ) 財産目録(法人全体:特定非営利活動およびその他の事業)

2025年3月31日 現在

(単位:円)

《資産の部》	
<b>【流動資産】</b>	
(現金・預金)	
現 金	148,876
小口 現金	10,716
普通 預金	4,352,204
<b>現金・預金 計</b>	<b>4,511,796</b>
(売上債権)	
売 掛 金	604,680
未 収 金	5,081,376
<b>売上債権 計</b>	<b>5,686,056</b>
(棚卸資産)	
棚 卸 資産	2,979,174
<b>棚卸資産 計</b>	<b>2,979,174</b>
(その他流動資産)	
立 替 金	797,918
前 払 費用	88,505
仮 払 金	318,754
<b>(その他流動資産) 合計</b>	<b>1,205,177</b>
<b>流動資産合計</b>	<b>14,382,203</b>
<b>【固定資産】</b>	
(有形固定資産)	
車両運搬具	3,745,462
機械及び装置	3,255,386
什器 備品	10,316,033
<b>有形固定資産 計</b>	<b>17,316,881</b>
(投資その他の資産)	
敷 金	316,000
リサイクル預託金	7,930
<b>投資その他の資産 計</b>	<b>323,930</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>17,640,811</b>
<b>資産の部 合計</b>	<b>32,023,014</b>
《負債の部》	
<b>【流動負債】</b>	
未 払 金	4,377,275
前 受 金	3,058,655
短期借入金	4,000,000
預 り 金	428,373
未払法人税等	71,000
<b>流動負債 計</b>	<b>11,935,303</b>
<b>【固定負債】</b>	
擬似私募債	20,300,000
長期借入金	13,465,000
<b>固定負債 計</b>	<b>33,765,000</b>
<b>負債の部 合計</b>	<b>45,700,303</b>
<b>正味財産</b>	<b>△ 13,677,289</b>

(5) 監査報告

2025年6月9日に宮本孝志監事より監査を受けましたので、ご報告いたします。

## 監査報告書

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム

理事長 薬師堂 謙一 殿

2025年6月9日

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム

監事 宮本孝志

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び活動計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

## 第二号議案 2025年度事業計画及び活動予算案決定の件

### (1) 2025年度の活動方針

#### <全体方針>

KBFとしては、収支は改善の方向にありますが、依然として債務超過の状態にありますので、早期に黒字化していく必要があります。コンサルティング事業や薪の製造販売事業を中心に、収支の改善を図っていきます。

一方で、世界全体をみると、ロシアによるウクライナ侵攻が継続している中、イスラエル周辺の中東地域の政情も不安定となっています。気候変動による災害などのリスクが顕在化する中、エネルギー・食糧の安全保障がますます重要となっています。

九州地域については、太陽光発電の拡大により昼間の再エネ電力が余剰となっている中、再エネ熱利用については、まだ活用が進んでいないのが現状です。KBFでこれまで開発してきた薪ボイラーなどの熱利用システムの普及によって、これらの課題に取り組んでいきます。

資源循環の観点からは、ほとんど海外からの輸入に頼っている肥料を、家畜排泄物や食品廃棄物由来の堆肥・液肥などの活用を進めていく必要があります。KBFでは、ペレット堆肥の乾燥システムやバイオ液肥の普及に取り組んできました。近年ではお米の高騰などが課題となっている中、農家に対して安価で使いやすい国内資源の肥料を供給する仕組みづくりを行う事で、農家の所得向上や食糧の安全保障につなげていきます。

#### <個別事業方針>

##### ① 広報啓発事業

新聞やテレビなどのメディアやホームページを通じて、バイオマスや脱炭素社会の実現に向けた情報発信を行っていきます。

##### ② 地域モデル推進事業

収益力の高いコンサルティング事業にウエイトを置きながら、阿蘇地域を中心に九州内にあるバイオマスや再エネの最大限の活用を進めるためのローカルシンクタンク・DOタンクとして、脱炭素・循環型社会の実現にむけて調査や仕組みづくり・事業の具体化を進めます。

##### ③ バイオマス関連製品普及・販売事業

現在伸びている薪の製造販売事業を中心に、事業を発展・継続していきます。

##### ④ 環境教育

環境教育については、関係団体と協力しながら出前講座等を実施していきます。

##### ⑤ 専門家派遣事業

専門家派遣事業については、自治体や企業へのコンサルタント事業を通じて、バイオマスや再エネの利活用の仕組みづくりを進めていきます。

##### ⑥ その他の事業

今年度は予定ありません。

### (2) 2025年度事業概要

#### ① 特定非営利活動に係る事業(2025年4月1日～2026年3月31日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者的人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
広報・啓発事業	(1)ニュースレターの発行	随時	阿蘇市	1	50人	40
	(2)インターネットによる情報発信	随時	－	1	不特定多数	12

	(3)視察・見学の受け入れ	隨時	阿蘇市	1	50人	10
	(4)セミナー・シンポジウム開催	1回	九州内	1	不特定多数	-
バイオマス利用地域モデル推進事業	(1)地域脱炭素化支援事業・コンサルティング事業	通年	九州内	2	不特定多数	8,000
	(2)九州薪・木質ペレット活用協議会	通年	九州内	2	不特定多数	2,300
	(3)野草資源小委員会事務局運営	年4回	阿蘇市	1	17	10
	(4)ペレット堆肥・技術開発事業	通年	熊本	6	不特定多数	12,400
	(5)ペレット堆肥・技術開発事業(豚糞)	10月～	長崎	6	不特定多数	22,000
バイオマス関連製品普及・販売事業	(1)薪・木質ペレット・木灰の販売	通年	九州内	2	200人	19,000
環境教育	(1)野草紙等、体験型環境学習の実施	通年	阿蘇郡市	2	200人	10
専門家派遣事業	(1)各種イベント・セミナー等への講師・専門家の派遣・コーディネート	通年	全国	1	不特定多数	1,000

## ② その他の事業(2025年4月1日～2026年3月31日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
その他の事業	①農産物、畜産物、水産物、酒類、飲食物の販売	未定	阿蘇市	—	—	0
	②飲食店、小売店の経営	未定	阿蘇市	—	—	0
	③会議室、オフィススペースのレンタル、事務代行サービス	未定	阿蘇市	—	—	0
	④その他の上記の事業に付随する事業	隨時	九州内	—	不特定多数	—

## (3) 広報啓発事業

### ① 会報・インターネットによる情報発信

ホームページや SNS・動画配信を活用して、KBF の活動やバイオマスに関する情報を発信していきます。

### ② 観察・見学・研修生の受入

薪や草原の野草利用などの利用の現場について観察受け入れを行い、バイオマス利用の実践を学ぶ場を提供します。

## (4) バイオマス利用地域モデル推進事業

### ① 地域脱炭素化支援・コンサルティング業務

前年度に引き続き、自治体や企業に対して、脱炭素社会の実現とエネルギーの地産地消を目指して、九州内のバイオマス活用の推進や、再生可能エネルギーの導入、地域マイクログリッドの構築、地域新電力の設立などを支援していきます。

特に民間事業者向けとしては、バイオマスの利活用や排熱利用、農林業との連携など、従来おこなっ

てきた草原再生オペレーター組合の事務局支援や、新規事業計画策定・運用改善のコンサルティング、相談業務を受託業務として実施します。

② 九州薪・木質ペレット活用協議会(KFWA)

KFWA では、これまでと同様に下記の項目について実施していきます。

- 暖談の会などの薪ストーブユーザー向けの間伐体験・薪づくりワークショップの開催
- 林野庁地域内エコシステム技術開発事業で開発した薪の乾燥技術について、普及利用・応用展開を進めていきます。

③ 草本系バイオマスの活用(草原再生オペレーター組合事務局業務)

KBF が設立当初から取り組んできた阿蘇地域の草本系バイオマスの活用を担う草原再生オペレーター組合の事務局業務を行います。草原再生オペレーター組合は、現状では任意団体から農事組合法人への事業承継を進めており、2025 年度中に完全に事業承継が完了する見込みです。機械の老朽化も進んできていることから、機器の更新のために収支の改善に取り組んでいきます。

④ ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証(豚糞ペレット)

2023 年度からの 3 年間の継続事業として豚ふん堆肥ペレットの広域流通促進システムの開発を進めてきました。2025 年度が最終年度となりますので、目標を達成できるように

(5) バイオマス関連製品普及・販売事業

① バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフトウェア・データ等の販売。

バイオマスに関連する書籍をインターネットなどで販売することで、KBF の運営資金に充てる予定です。

② ペレットストーブやバイオマスプラスチック製品などのバイオマス関連製品の販売。

これまで継続してきたトイレットペーパーの販売を行うほか、木質バイオマスボイラーの燃焼灰を商品化して販売できる体制を整えていきます。

③ 薪・チップ・ペレット・草などのバイオマス関連製品の生産・販売・流通事業。

様々な物価が高騰していることや、薪の安定供給に向けた体制づくりの一環として、販売価格の見直しを進めながら、事業の継続性を高めていきます。

木灰については、これまで販路拡大に取り組んできましたが、粉状で舞いやすく、散布方法などの使い勝手の悪さを克服することが難しかったため、他団体とも連携を取って普及を進めていく予定です。

④ バイオマス活用設備・機器の販売。

ラジエーター式の熱交換器や薪の乾燥システムの製造販売を行います。2025 年度は、乾燥システムの設計業務について受注を見込んでいます。

(6) 環境教育

環境教育を行う人員体制がとれておらず、外部の人材・団体と連携を取りながら、これまで継続してきた事業が実施できるような体制づくりを進めていきます。

(7) 専門家派遣事業

自治体や他団体からの要請に応じて、セミナーやシンポジウムに講師を派遣するほか、企業などの要請に応じて専門家を派遣します。

(8) その他の事業

① 農産物、畜産物、水産物、酒類、飲食物の販売。

② 飲食店、小売店の経営。

③ 貸会議室、オフィススペースのレンタル、事務代行サービス。

④ その他上記の事業に付随する事業。

上記の 4 つの事業は、今年度は予定はありません。

(9) 2025年度活動予算

前年度にあった牛糞ペレットの委託事業が終わったため、事業収入の全体は落ちていますが、コンサルティング事業や薪の売上が伸びる見込みであることから、収支は黒字化を見込んでおります。

2025年度 活動予算書  
2025年4月1日から2026年3月31日まで

科目	金額(単位:円)		
	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
KBF会費収入	500,000		500,000
KFWA会費収入	400,000		400,000
2 受取寄附金	20,000		20,000
3 受取助成金等			
補助金収入	3,550,000		3,550,000
4 事業収益			
①広報啓発事業収益	150,000		150,000
②バイオマス利用地域モデル推進事業収益	33,549,000		33,549,000
③野草紙販売	220,000		220,000
④灰販売	20,000		20,000
⑤薪販売	19,000,000		19,000,000
⑥木質ペレット販売	1,700,000		1,700,000
⑦機器販売	1,000,000		1,000,000
⑧トイレットペーパー販売	100,000		100,000
⑨環境教育	20,000		20,000
⑩専門家派遣	200,000		200,000
5 その他収益		0	
受取利息	100		100
雑収入	60,000		60,000
経常収益計	60,489,100	0	60,489,100
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	19,000,000		19,000,000
役員報酬	2,784,000		2,784,000
法定福利費	3,000,000		3,000,000
人件費計	24,784,000	0	24,784,000
(2) その他経費			
売上原価	20,400,000		20,400,000
謝金	150,000		150,000
福利厚生費	250,000		250,000
通信運搬費	750,000		750,000
光熱水費	250,000		250,000
旅費交通費	1,800,000		1,800,000
涉外費	200,000		200,000
会議費	60,000		60,000
消耗品費	550,000		550,000
図書資料費	75,000		75,000
印刷製本費	50,000		50,000
修繕費	300,000		300,000
賃借料	1,450,000		1,450,000
業務委託費	1,600,000		1,600,000
車両費	450,000		450,000
車両燃料費	1,000,000		1,000,000
保険料	400,000		400,000
租税公課	2,000,000		2,000,000
諸会費	360,000		360,000
慶弔費	20,000		20,000
支払手数料	320,000		320,000
減価償却費	667,000		667,000
雑費	1,000		1,000
支払利息	480,000		480,000
法人税等	70,000		70,000
その他経費計	33,653,000	0	33,653,000
事業費計	58,437,000	0	58,437,000

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	196,000		196,000
役員報酬	0		
法定福利費	70,000		70,000
人件費計	266,000	0	266,000
(2) その他経費			
福利厚生費	6,500		6,500
通信運搬費	15,000		15,000
光熱水費	6,000		6,000
旅費交通費	2,000		2,000
涉外費	2,000		2,000
会議費	1,000		1,000
消耗品費	14,000		14,000
図書資料費	3,600		3,600
印刷製本費	5,000		5,000
修繕費	10,000		10,000
賃借料	7,600		7,600
業務委託費	15,000		15,000
車両費	15,000		15,000
車両燃料費	5,000		5,000
保険料	11,000		11,000
租税公課	69,000		69,000
諸会費	13,000		13,000
慶弔費	5,000		5,000
支払手数料	6,000		6,000
減価償却費	23,000		23,000
雑費	0		0
支払利息	17,000		17,000
法人税等	3,000		3,000
その他経費計	254,700	0	254,700
管理費計	520,700	0	520,700
経常費用計	58,957,700	0	58,957,700
当期経常増減額	1,531,400	0	1,531,400
III 経常外収益			
1 過年度損益修正益	0		0
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損	0		0
経常外費用計	0	0	0
当期正味財産増減額	1,531,400	0	1,531,400
前期繰越正味財産額	<b>-13,677,289</b>	0	<b>-13,677,289</b>
次期繰越正味財産額	<b>-12,145,889</b>	0	<b>-12,145,889</b>

### 第三号議案 短期借入金最高限度額決定の件

2024 年度の事業費は、約 5950 万円を予定しております。その運転資金として、短期借入金最高限度額は 2975 万円を上限として、銀行等の金融機関から融資を受けることについて、ご承認願います。

### 第四号議案 定款変更

2023 年度の総会で定款変更の承認を受け、その後の定款変更の手続きを行っていたのですが、パレアとの手続きの中で、一部変更できていない箇所があることが判明しました。すでに総会で承認されている事項ですが、手続き上、総会の承認が必要となるので、あらためて定款変更案について承認いただければと思います。変更後の定款については、資料6をご確認ください。

定款:新旧対照表

現行	新
<p>(事業)</p> <p>第5条 この法人は、その目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <p>(1)省略</p> <p>(2)その他の事業</p> <p>① <u>バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフトウェア・データ等の販売。</u></p> <p>② <u>ペレットストーブやバイオマスプラスチック製品などのバイオマス関連製品の販売。</u></p> <p>③ <u>薪・チップ・ペレット・草などのバイオマス関連製品の生産・販売・流通事業。</u></p> <p>④ <u>バイオマス活用設備・機器の販売。</u></p> <p>⑤ 農産物、畜産物、水産物、酒類、飲食物の販売。</p> <p>⑥ 飲食店、小売店の経営。</p> <p>⑦ 貸会議室、オフィススペースのレンタル、事務代行サービス。</p> <p>⑧ その他上記の事業に付随する事業。</p> <p>2 省略</p>	<p>(事業)</p> <p>第5条 この法人は、その目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <p>(1)省略</p> <p>(2)その他の事業</p> <p>① 農産物、畜産物、水産物、酒類、飲食物の販売。</p> <p>② 飲食店、小売店の経営。</p> <p>③ 貸会議室、オフィススペースのレンタル、事務代行サービス。</p> <p>④ その他上記の事業に付随する事業。</p> <p>2 省略</p>

### 第五号議案 その他(意見交換)

出席者の皆様からのご意見をお願いします。